

リスクアセスメントは空回りしていませんか・・・？

リスクアセスメントの最大のポイントは、現場のどの場所・どの作業の中に、どのような危険性(危険源)があるかを事前に把握する、危険源のリストアップです。そして、リスク評価につながります。しかし、研修会ではリスク評価、つまり点数付けに重点をおき、危険源のリストアップ(特定)を教えなかった結果、現場はR・KYと混同し、やがて空回りし始めました。

現状は、危険性を感じたものだけを対象とする「モグラたたき」で、多くの危険源が漏れています。

DVDは既存のリスクアセスメントの手法と異なる全く新しい試みにみえるが、実はリスクアセスメント指針の精神に準拠

リスクアセスメントに絶望する前に、今一度挑戦するための一方策



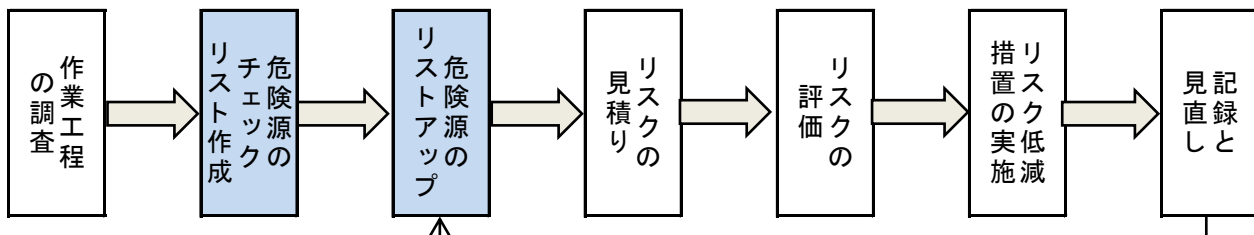
よりよい危険源のリストアップ法はこれだ

・・・より効果的なリスクアセスメントを進めるために・・・

資料付きで提供します

みなとみらい労働法務事務所 菊一 功 監修

リスクアセスメントは 指針に例示する危険源のチェックリスト作成に始まり、図のように進行する一連の安全衛生管理手法



このDVDでは、危険源のチェックリスト作成から危険源のリストアップまでを解説
危険源の特定漏れから発生した死亡災害を2例紹介

危険源のチェックリストに従って、危険源の型に該当する「もの」が「ある」か、「ない」かだけをリストアップします。リスク評価ののちは、作業手順書やR・KY等の資料として活用できます。

リスクアセスメントは、チェックリストを作成し、機械・設備等の「もの」のリストアップから始めると理解しやすいです。リスクアセスメントの入り口がわからない場合や、リスクアセスメントに疑問を感じている場合はお勧めします。この手法だと、建設業、製造業、運輸業等業種の特殊性は特に関係ありません。

このDVDをみていただきたい対象者

- 現在行っているリスクアセスメントに物足りなさや疑問を持ち、空転していると感じている安全責任者
- リスクアセスメントの研修で使用テキストに違和感を持っている社内研修の講師
- 顧問先の事業場にリスクアセスメントをやってみたい社会保険労務士
- 撮影現場が建設現場だが、すべての業種に適用可能なので、製造業等の安全担当者
- リスクアセスメントを真剣に考えようとしている経営責任者



ベテラン所長でも、危険に対する感性の低下がある



リスク評価は多くの意見を聞く

雨水の溜まったピットがあるかないか

酸欠のおそれがあると認識したピット内作業

第三者が物を落とし
ピットに入り被災
(漏れの部分)

ピットの有無でみるのと、酸欠のおそれ
みるのとの誤差＝危険源の漏れ

危険性又は有害性(危険源)の特定 管理台帳 (部署名)								
No.	危険源の型		具体的な危険源 (機械番号等で個別に特定)	危険源の場所			定常 作業	故障 修理
	機械等による危険源	事故の型		A 地区	B 地区	C 地区		
	機械等による危険源	事故の型	現場全域・すべての機械類					
1	① 回転している箇所	切れ 巻き込まれ						
	② 伸縮、上下運動するもの	はさまれ						
	③ 内部に高圧がかかるもの	破裂						
	④ 著しい騒音を発する箇所	難聴						
	⑤ 鋭利な箇所	切れ・こすれ						
	⑥ 重さのある物の動力による移動	飛来・落下 はさまれ						
	⑦ 搭乗の機械設備で、物に接近するもの	はさまれ						
	⑧	はさまれ						
※ 災害発生の可能性に関係なくすべて記載								
	作業場所に係る危険源	事故の型	現場全域					
2	① 高い箇所での作業	墜落						
	② 1m以上の掘削作業	土砂崩壊						
	③ 傾斜のある作業箇所	足を滑らす						
	④ 段差のある作業箇所	つまづく						
	⑤							
※ 墜落等に関係なく、すべて記載								
	電気に係る危険源	事故の型	現場全域					
3	① 充電部	感電						
	② 電気工具のコード接続部	感電						
	③							
	④							
	⑤							
※ 感電の可能性に関係なくすべて記載 (以下同じ) 24V以上を対象とする								
	熱に係る危険源	事故の型	現場全域					
4	① (50)度以上の熱い物	火傷						
	② 高温環境下にばく露される状態	熱中症						
	③ 低温環境下にばく露される状態							

DVDで紹介したチェックリストの例

No.	危険源の型		具体的な危険源 (機械番号等で個別に特定)	危険源の場所			定常 作業	故障 修理
	爆発・火災に係る危険源	事故の型		A 地区	B 地区	C 地区		
	爆発・火災に係る危険源	事故の型	現場全域					
5	① 塗装	爆発						
	② 高圧機械装置	爆発						
	③ 腐食性物質等	薬傷						
	④	火災						
	エネルギーに係る危険源	事故の型	現場全域					
6	① 放射線物質等の取扱い	放射線による被ばく						
	② アーク溶接による光線	目の障害						
	③ レザール光線	目の障害						
	④							
	作業行動に係る危険源	事故の型	現場全域					
7	① 重量物取扱い(一人作業)	腰痛						
	② 重量物取扱い(二人以上)	腰痛						
	③ 重量物取扱い(二人以上)	はさまれ等						
	④ 作業姿勢	腰痛						
(重量を現場で規定も可)								
	騒音・振動による危険源	事故の型	現場全域 全ての機械・装置					
8	① 85db以上の騒音を発する機械・道具等							
	② 振動を伴う機械	振動						
	③							
	ガス・粉じん等の危険源	事故の型	現場全域					
9	① 有機溶剤等	中毒						
	② 粉じん・アスベスト ダイオキシン	じん肺等						
	③ 雨水の溜まったビッド等	酸欠						
	⑤							
	⑥							
	その他の危険源	事故の型	現場全域 全ての機械・装置					
10	① 起動装置に施設設備がない機械等で、機械内部や接触範囲で修理・点検等を行う必要がある機械装置等	はさまれ等 感電						
	②	他人の誤操作						

リスク評価、低減措置及び実施

No.	危険源 (場所・移動箇所)	定・ 非定 常	予測される災害のストーリー	事故の 型	リスクの見積り 重大 性 可 能 性 合 計 ポ イ ント	リスク低減措置の検討及び実施				措置後のリスク の見積り			管 理 簿 登 記 確 認	
						レベルの評価				重大 性	可 能 性	合 計 ポ イ ント		要 要 要 要 要
						9 即作業禁止	8 優先的改善	7 計画的改善	6 改善検討・措置管理					
		定 非定			3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	要 要 要 要 要		
		定 非定			3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	要 要 要 要 要		
		定 非定			3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	要 要 要 要 要		
		定 非定			3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	3 2 1 0.1~	要 要 要 要 要		

リスク評価表の例

- DVD「危険源のリストアップ法はこれだ」の内容に関連して、労働新聞社の安全スタッフに2012年2月号から「リスクアセスメントの見直し」を3回に分けて掲載します。DVDは、危険源のリストアップ(特定)の方法までですが、安全スタッフにはリスク評価の方法と質疑応答まで掲載しています。ご購入の参考としてください。
- DVD購入者には、3回分の原稿を無料でお送りし、なお、ご希望の方には危険源のチェックリスト、リスク評価表等のエクセル版をメール等でお配りする予定です。社内研修等の講師の方は配布資料としてご利用ください。
- このDVDを使用したリスクアセスメント研修の講師依頼(有料)があればお受けする計画(所長又は研究員)です。

DVD「危険源のリストアップ法はこれだ」の申込書

定価45,150円を 特価40,000円 で販売 DVD 本	会社名	
	所在地	
	TEL	FAX
	メールアドレス	
	所属部署・ご氏名	
お問い合わせ お申込みは	みなとみらい労働法務事務所	TEL 045(662)6505 FAX 045(662)6569
	231-0013 横浜市中区住吉町2-22 松栄閣内ビル	(メール) info@mmrodo.jp